

ひらめき箱(意見・要望等)対応状況

番号	19	開封日	令和8年9月15日
ご 意 見			
8月25日10時半頃 突然通行止めにされ、我が家の出入り口の目の前の市道を「水道工事」として隣接する敷地の建築関係者による水道の掘削工事が行われました。現場にいた市の職員は「民間の工事なので市は関係ない」とそっけない返答でした。 何が建つのか、どのような工事を行うのか、事前に説明が一切ないまま工事は開始されました。 今後も同様の独断的な道路規制や工事が行われるのではないかと強い不安を抱いています。 「民間だから関係ない」と発言した職員は、こちらから声をかけるまで、知らぬふりで建築関係者と雑談中でした。なぜですか？ 工事敷地内に水道は有ります。通行止めにしての工事はなぜですか？			
回 答			
上水道課からお答えいたします。 まず、職員の対応につきまして不快な思いをされたことに対してお詫び申し上げます。 ご指摘の「水道工事」につきましては、質問者様の隣接する敷地に、民間の方が建物を建設するにあたり、新たに給水管（市が管理する上水道本管から分岐し、宅内に水を引き込むための個人の上水道管）を設置するために行われていた工事でございます。 職員は、給水管施工業者から「給水管を設置する箇所にコンクリートの構造物が出てきたため現地を確認してもらいたい。」と要望があったために現地で立ち合いを行ってまいりました。 市では給水管の設置工事を行う際に、道路の通行規制などが必要な場合は、給水管施工業者に対しまして、関係機関への工事の届出、工事箇所近隣住民へのお知らせ等を行っていたべくよう指導は行っているところでございますが、今回、近隣住民へ工事内容が周知されていなかったことを受け、給水管施工業者に対して、指導を強化してまいります。 また、何が建つのか、どのような工事が行われるかについては、民間の方が建物の建設を計画され、施工業者と協議を行いながら工事方法等を決定されることから、行政側から近隣住民へ説明を行う立場にはないものと認識しております。 質問者様から声を掛けられるまで、職員がお声掛けしなかったことも上記理由のとおりでございます。なお、質問者様に雑談と聞こえていた内容については、出てきたコンクリート構造物に対して、給水管をどのような処理方法にするか話をしていたものでございます。 質問者様のご意見のとおり工事敷地内には、以前建っていた建物用の給水管はございますが、民間の方と給水管施工業者の間で協議が行われ、既存の給水管では口径が小さく、水量が不足すると判断されたことから、道路の通行規制を行い、新たに給水管を設置する工事が行われていたものでございます。			